

令和3年度

忌部地区流出水対策協議会

活動報告

クリーン忌部

令和3年9月5日、自治協会、流出水対策協議会、寿会の共催で、クリーン忌部を実施しました。

忌部地区全体で取り組んでいただき、合計300名の参加で、総延長56kmの結果でした。ご協力ありがとうございました。

ポイ捨てごみは、少なくなっているようですが、まだまだ道端にペットボトル、空き缶などが捨ててあります。また、下忌部、大谷で粗大ごみの不法投棄を発見、後日処理しました。



田んぼアート

今年度で11回目となりました。図柄は、島根県の水と緑の森づくりイメージキャラクター「みーもくん」。

田植え前のしろかきは、落水量を減らす「浅水しろかき」で、環境にやさしい農法です。田植えは、忌部地区流出水対策協議会関係者8人で行いましたが、稲刈りは忌部地区内外から、約100名の参加でした。忌部の自然と、食の大切さをアピールしています。



田植え前の測量



田 植 え



稲刈り

ビオトープ

おおかわばた 大川端忌部川沿いの休耕田きゅうこうでんを活用し、大川端ホテルを育てる会が中心となって活動するビオトープの報告です。

9月7日（火） 忌部小学校（町たんけん ビオトープへ行こう）

2年生20名が、大川端地区の町探検、田んぼや川の生き物・山の探検などの総合学習に訪れました。

大川端地区の町探検では、33年に一度の「大川端三寶大荒神神楽」おおかわばたさんぼうだいこうじんかぐら「慈恩寺」じおんじの歴史を学び、その後、ビオトープでの学習でした。水害による護岸は整備され、川幅が広くなり、水量も今までになく多く遊ぶには最高でした。箱めがね持参の児童もいて、川の中の生き物に目を輝かせ、歓声をあげ、無心にのぞいている姿に、環境の大切さが感じられました。

また、池や川に住むいろいろな生き物を見つけ、つかまえるのに四苦八苦するなど、山と川の探検に満足した様子でした。つかまえた生き物の多くは、ビオトープに放し、残りは学校や家庭で飼育しました。

生き物とたくさんの会話ができ、自然の豊かさを満喫した一日でした。





9月7日(火) 忌部幼稚園

昨年は、ミニビオトープでの活動でしたが、今年は本物のビオトープで活動しました。木の橋を歩いたり、山登り、山下りなど、いろいろな遊びがたくさんできました。

最初は怖くて泣きそうな園児もいましたが、だんだん慣れてきて一人で斜面の登り降りができるようになりました。成長していく姿を感じる活動となりました。



【ビオトープの整備】

令和2年9月の豪雨により、ビオトープ付近の河川が氾濫し、護岸が崩壊しました。また、学習活動の一部である歩道が川となり、椅子、簡易トイレなどが流され大きな被害を受けました。

松江市の護岸工事が、令和3年8月に完了し、以前よりも川遊びの活動がスムーズにでき、新たな取り組みに発展していく「夢」が出てきました。



【河川愛護団活動】

年2回、河川の清掃活動を行っています。

昨年の3月「クリーン忌部」活動に合わせ、大川端河川愛護団がビオトープ周辺の河川の草刈りや木の伐採など行ないました。令和2年9月の豪雨で大川端地区の河川は大きな被害を受け、多くの流木、ゴミが河川をふさぎましたが、河川愛護団の協力により、大変きれいになりました。



みぢかな
せいそう かつどう
清掃活動で

かわ しんじこ
川と宍道湖をまもろう！

◆ 清掃活動をしなくて、葉や草などが道端に残ったままだと…？

① 道端の葉や草などは、風や雨によって、川や湖に流れ込みます

○: 酸素

② 葉や草などは、水の中の小さな生き物（微生物）に食べられます

③ 微生物は魚や貝のエサですが、増えすぎると、水の中の酸素が少なくなります

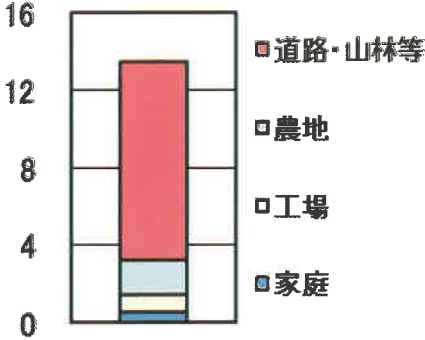
④ 酸素がなくなると、貝や魚もいなくなります

酸素が少ないと苦しいよ～

たす 助けて～

◆ 葉や草などの影響は、大きいのか？

(トン/日)



- 葉や草など、市街地や山林などからの影響が、一番大きいです
- 宍道湖をまもるためには、身近な地域の清掃活動が大切です
- これからも一緒に頑張ってください



宍道湖に流れ込む汚れ(COD)の量

[資料提供]